



令和3年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

橿中学校区 令和3年7月21日(水)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

◆令和3年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『橿地区の発展に向けて、学校と地域が連携できること』

12年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。平成30年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 平成27年 403,895人 ⇒ 令和47年 301,809人 (25.3%減)
- ・赤江地域自治区の人口推移 平成27年 41,966人 ⇒ 令和47年 33,580人 (20.0%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています。

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・第30回橿地区文化祭、花の植栽 等



▲ 橿中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

◆ フリートーク

● トーク参加者からの意見

- ・地域の魅力として、あいさつに力を入れており、気持ちが良い。また、中学生のボランティア精神が非常に高く、公園のトイレ掃除や地域行事に積極的に参加してくれる。
- ・地域の課題として、大型商業施設などができ交通量が増える中で、通学路に歩道がないため危険。片側だけでもよいので歩道がほしい。
- ・地域の課題として、これからますます高齢化・人口減少が進んでいくため、地域の助け合い、若い力が必要である。
- ・平日に地震・津波などの災害が起こった際に、すぐに自分で避難ができない人がどれくらいいるのか把握することが必要。また、逆に助ける側として動くことができる人がどこにどれほどいるのかを知ることにも必要。防災の取り組みについては中学校ともなにか連携ができないか話し合っていきたい。

● 中学生からの意見

- ・地域の魅力として、地域の人々が優しく、挨拶が気持ち良い。地域の連携力もある。
- ・学校の魅力として、生徒・教員の数が多いのでたくさんの人と交流をすることができるのでとてもいい環境である。
- ・地域の課題として、交通の便がよくないと感じることがあり、道路が狭いため、交通ルールが難しい。歩道や道路を広げてほしい。
- ・地域の課題として、穂地区でどのような取り組みが行われているのか知らない人も多いので、もっと情報の発信をしていくことが必要。
- ・災害時、中学生は判断力・行動力もある年齢なので、小学生や高齢者への呼びかけなど、自分の身を守りつつ、地域にも貢献していきたい。
- ・穂中学校では毎年、穂地区の高齢の方々へ年賀状を送っているため、どこに高齢者が住んでいるのか把握できる。これを災害時などの呼びかけ等にも活かすことができるのではないかな。
- ・普段からボランティア活動を通して、地域連携を強めている。コロナウイルスにより現在は自粛しているが、いい経験である。

● 傍聴者からの意見（アンケートより）

- ・災害時の地域と学校（生徒たち）の連携については、今後も引き続き考えてほしい。
- ・生徒たちの発言はしっかりしていて驚いた。生徒さんの「日本一のあいさつ」が聞きたい。

● 市長からの回答、感想

- ・子どもたちがすばらしいが、子どもたちを育てている地域の方の想いや努力が実った成果なのだと思う。
- ・災害が起こった際に、すぐに避難できる自分たちだけではなく、高齢者など、他人を思いやり行動できる地域になるように考えていただければと思う。
- ・穂中学校から始まった高齢者への年賀状配布などの素晴らしい取り組みが、他の地域の中学校でも動き始めている。コロナ禍でなかなか動きづらいこともあるかと思うが、形を変えるなど工夫をしながら、良いことをやめずになんとか続けていってほしい。
- ・道路事情などを改善し、安心・安全で楽しいまちにするため、私も努力していく。これからの生徒の皆さんの活躍に期待している。

